



國字水滸傳十六編

上

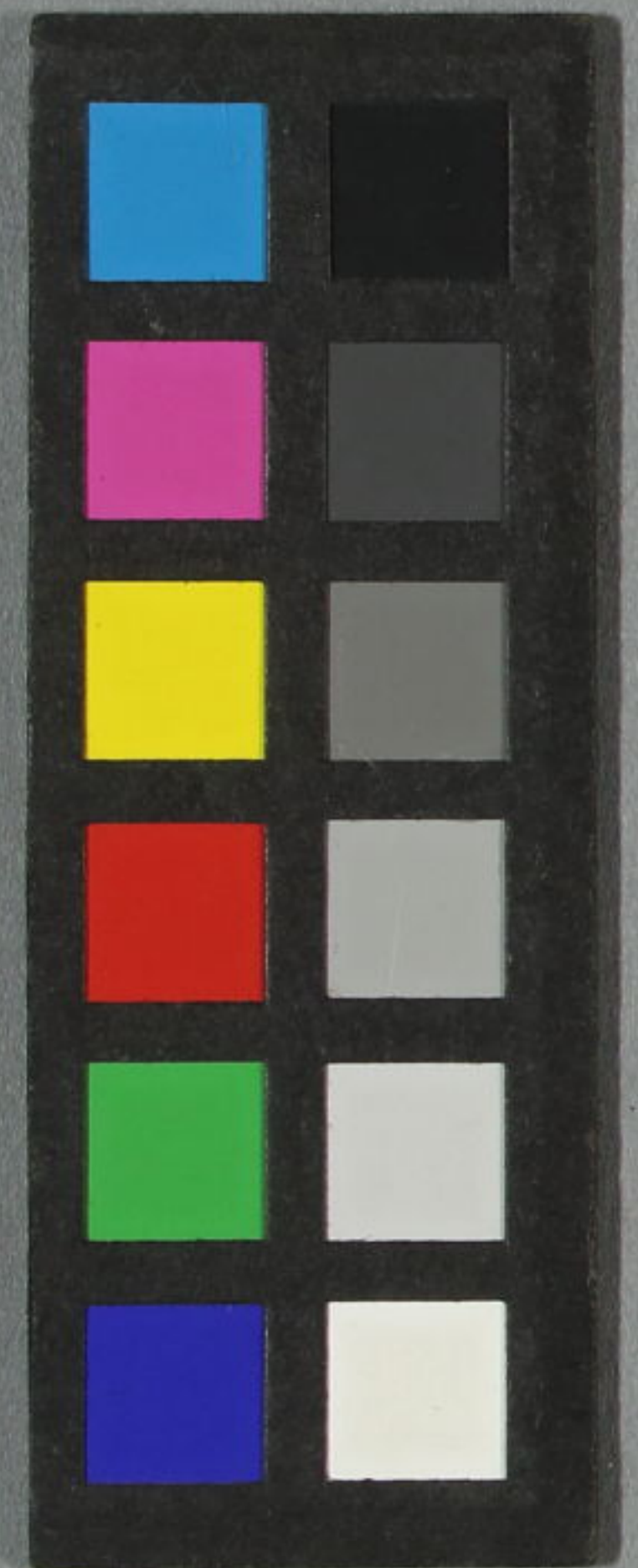
第廿回之下  
宋江怒殺閻  
婆惜

笠亭仙果譯  
歌川國芳画



兩國大平持

~ 13  
3812  
16



3812  
16

# 國字水滸傳

十一編

栗多心果誰  
郭川國山畫

天保十年三月の事の新稿

松葉の巻



上  
り

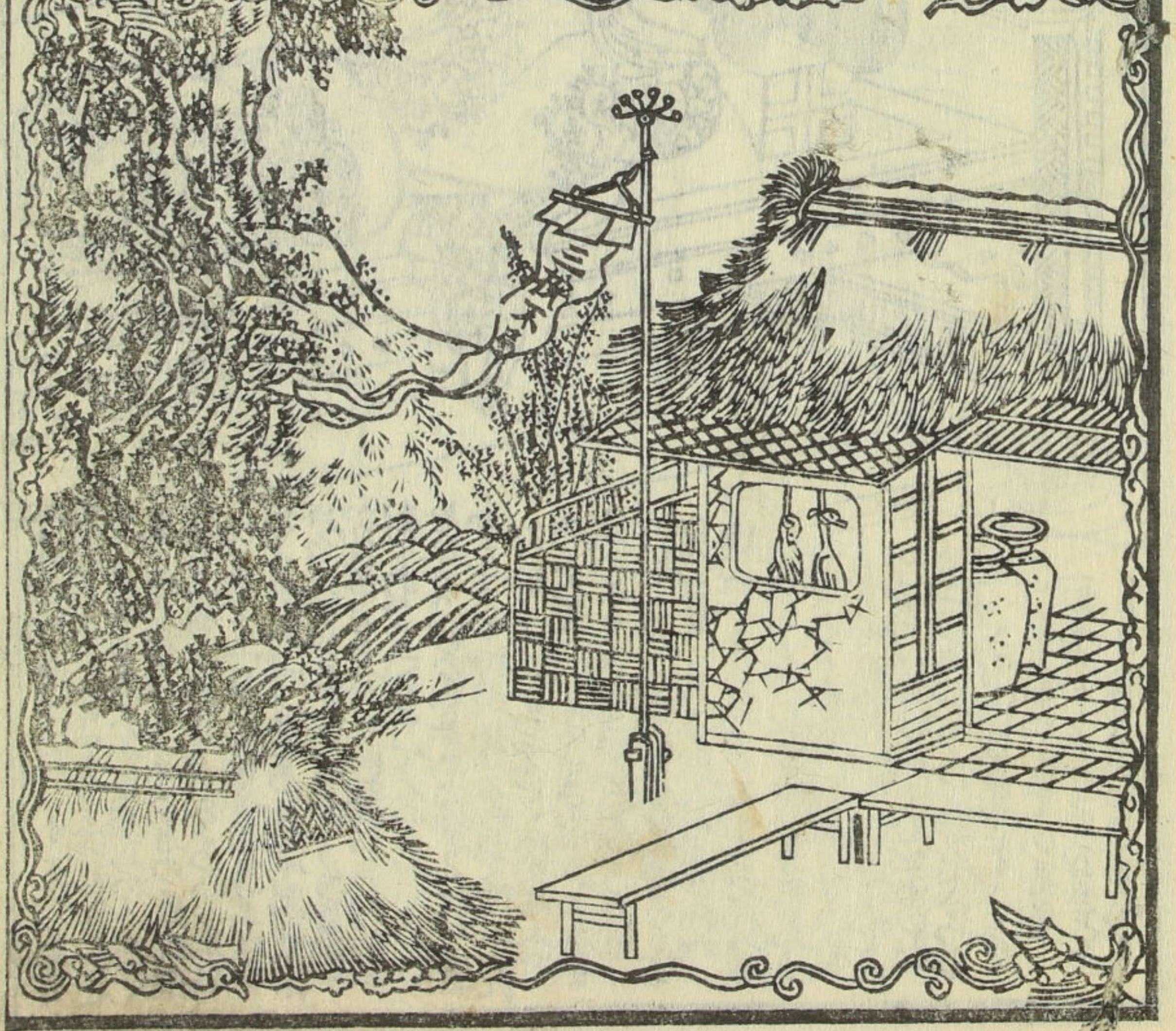
釋尊の毒蛇小比論へ孔子の養ひごとこのまゝまで七福神小辨天あり六歌  
 仙の由小町を加へて女がなつての夜があけぬ宇受賣の神樂も男でも天津日も  
 出た下。まゝ今旭の工摺合巻の表紙は女と画とよく土買ふ中  
 國字水滸傳。多心果誰小女が出まはぬ。狂乱勇牌志の不平と情らさく野へ足  
 如成興の十六帳。夫の作者の幸といふ。女の少るは脚色もす。奥肉乃  
 の気が轉くよう拾也。拙作も上手の目下。女の少るは脚色もす。奥肉乃  
 後の精進の。それ下地が西土の名物を。下する庵丁でも。自然と旨く  
 仇討を。あゝ。小娘達も面白。次編もう。この評判い。此場の宋江が。  
 閻婆惜を殺す。巧。さうふらん下さる。ま。

天保十年己亥新刻

笠亭仙果記

十六編

武松一連喫十  
八碗  
醇酒  
提哨  
棒過  
景陽  
岡來



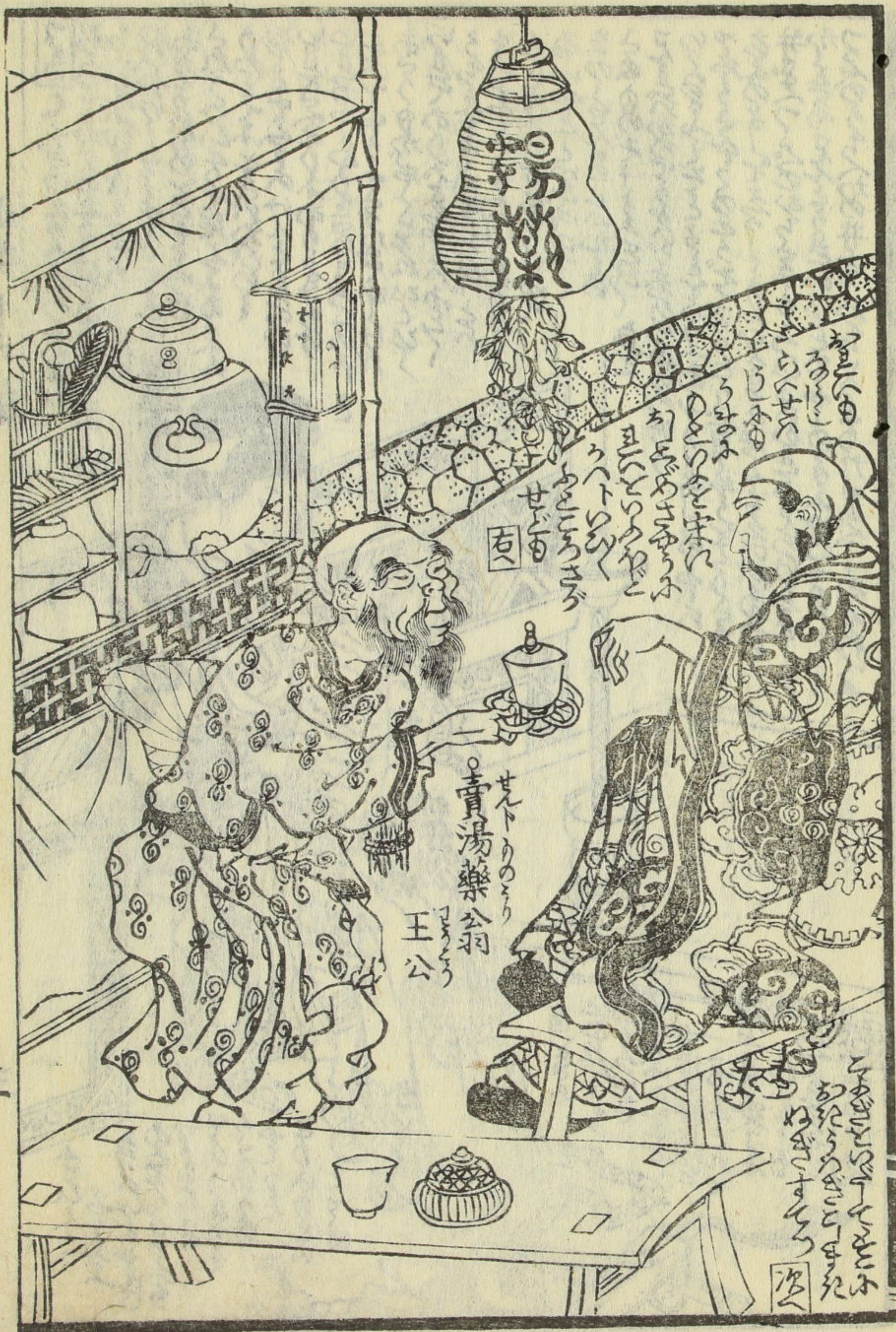
水滸十六編



宋江怒殺閻婆  
惜之圖  
有詩為證  
酒不醉人人自醉  
花不迷人自迷  
直饒今日能知悔  
何不當初莫去為



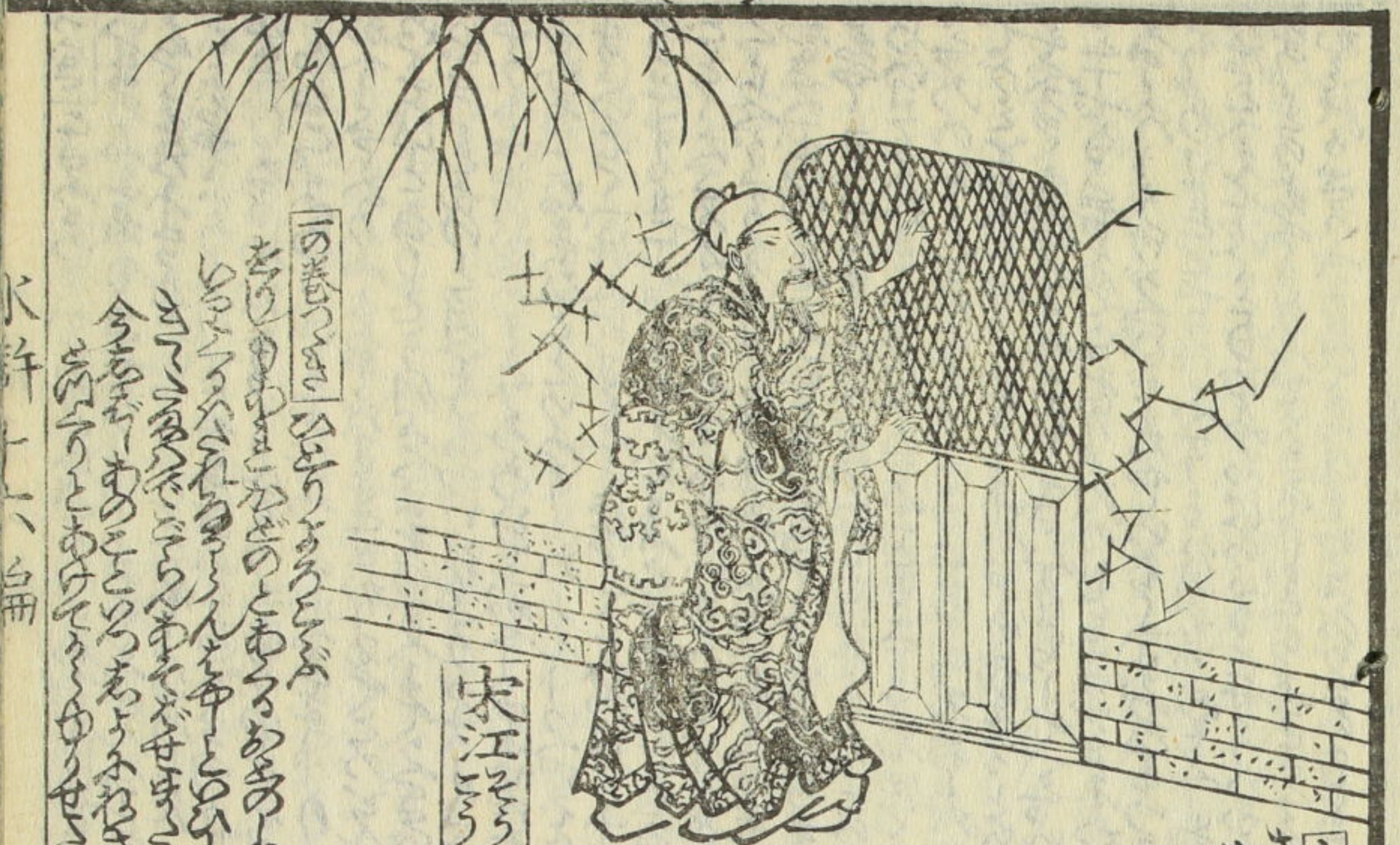




Handwritten Japanese text in the upper section of the right page, including a small boxed title.



Handwritten Japanese text in the lower section of the right page, including a small boxed title.



Handwritten Japanese text in the upper section of the left page, including a small boxed title.

Handwritten Japanese text in the lower section of the left page, including a small boxed title.

Handwritten Japanese text at the bottom of the left page, including a small boxed title.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or account, covering the top half of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing the account from the top half of the page.

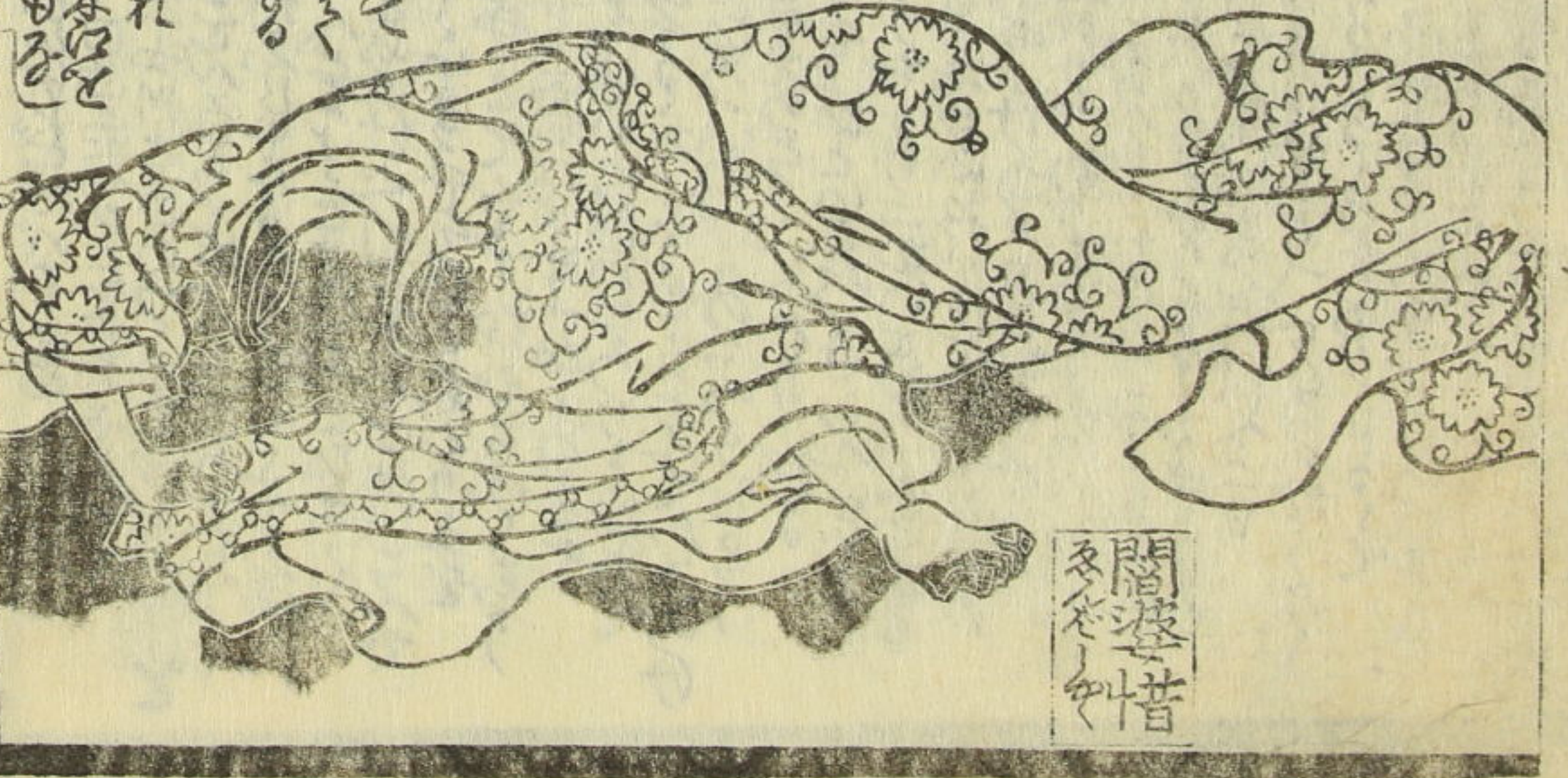
Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or account, covering the top half of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing the account from the top half of the page.



Handwritten Japanese text in the top section of the right page.

Handwritten Japanese text in the middle section of the right page.



閻婆惜 (Enba Shiki)

Handwritten Japanese text in the top section of the left page.



宋江 (Sōkō)





松壽堂藏販略目録

清懷中折本多事内目錄  
 清家改撰消息律来  
 妙用文章  
 古抄  
 高賣雜来  
 早學用文章  
 實語教童子教  
 當時所用習物

奥州松島八景之圖 唐紙一枚摺  
 前北齋爲一老人筆  
 繪本平家物語 松亭金水譯  
 歌川國直画  
 分間御江戸圖 一枚摺  
 松壽年代記 兩面摺  
 裏面將軍忠臣代之初め流氏重宝と云ふ事あり

國芳畫  
 仙果譯



水滸十六編

七

新 第 一 回 之 上  
武 松 一 連 喫  
十 八 碗  
天 保 十 亥 新 刻  
大 黑 屋 平 吉 版

國字水滸傳十六編 下





ついでに...  
 ねま...  
 朱企...  
 村...  
 中...  
 け...  
 と...  
 妻...  
 子...  
 ま...  
 兄...  
 ど...  
 さ...  
 ね...  
 う...  
 り...  
 あり...  
 聖...



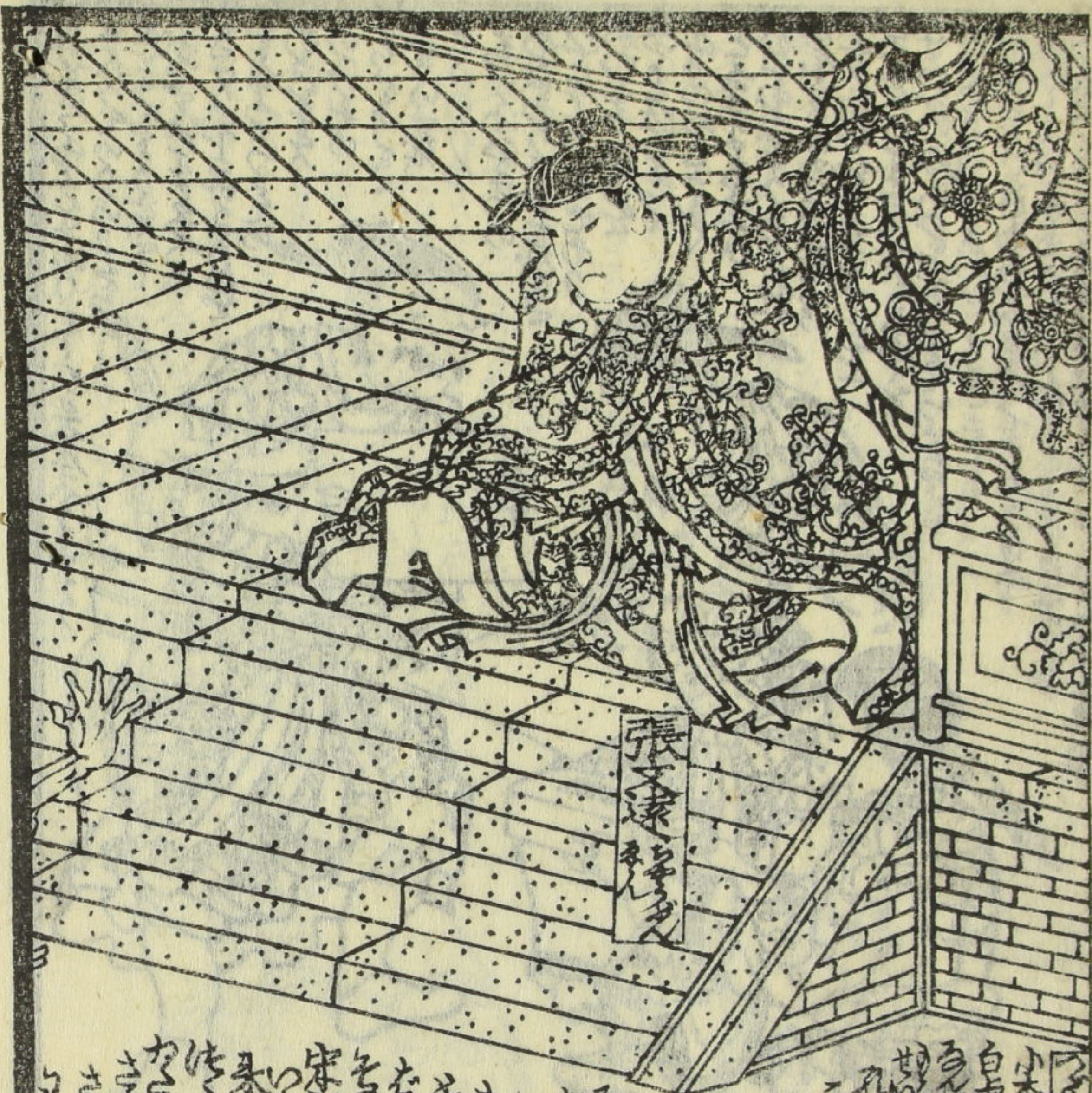
おん...  
 ひ...  
 む...  
 の...  
 さ...  
 の...  
 さ...  
 か...  
 さ...  
 さ...  
 さ...

あ...  
 そ...  
 ね...  
 ん...  
 け...  
 う...  
 り...  
 あり...  
 聖...

あ...  
 そ...  
 ね...  
 ん...  
 け...  
 う...  
 り...  
 あり...  
 聖...

あ...  
 そ...  
 ね...  
 ん...  
 け...  
 う...  
 り...  
 あり...  
 聖...





宋公孫策...  
 張子遠...  
 宋公孫策...  
 張子遠...  
 宋公孫策...  
 張子遠...  
 宋公孫策...  
 張子遠...



宋公孫策...  
 關漢卿...  
 宋公孫策...  
 關漢卿...  
 宋公孫策...  
 關漢卿...  
 宋公孫策...  
 關漢卿...



左の山にそと今よりあつてせむふ  
 まさのちかきけの文書は  
 うつておきせうと

朱全忠

八千一

一五



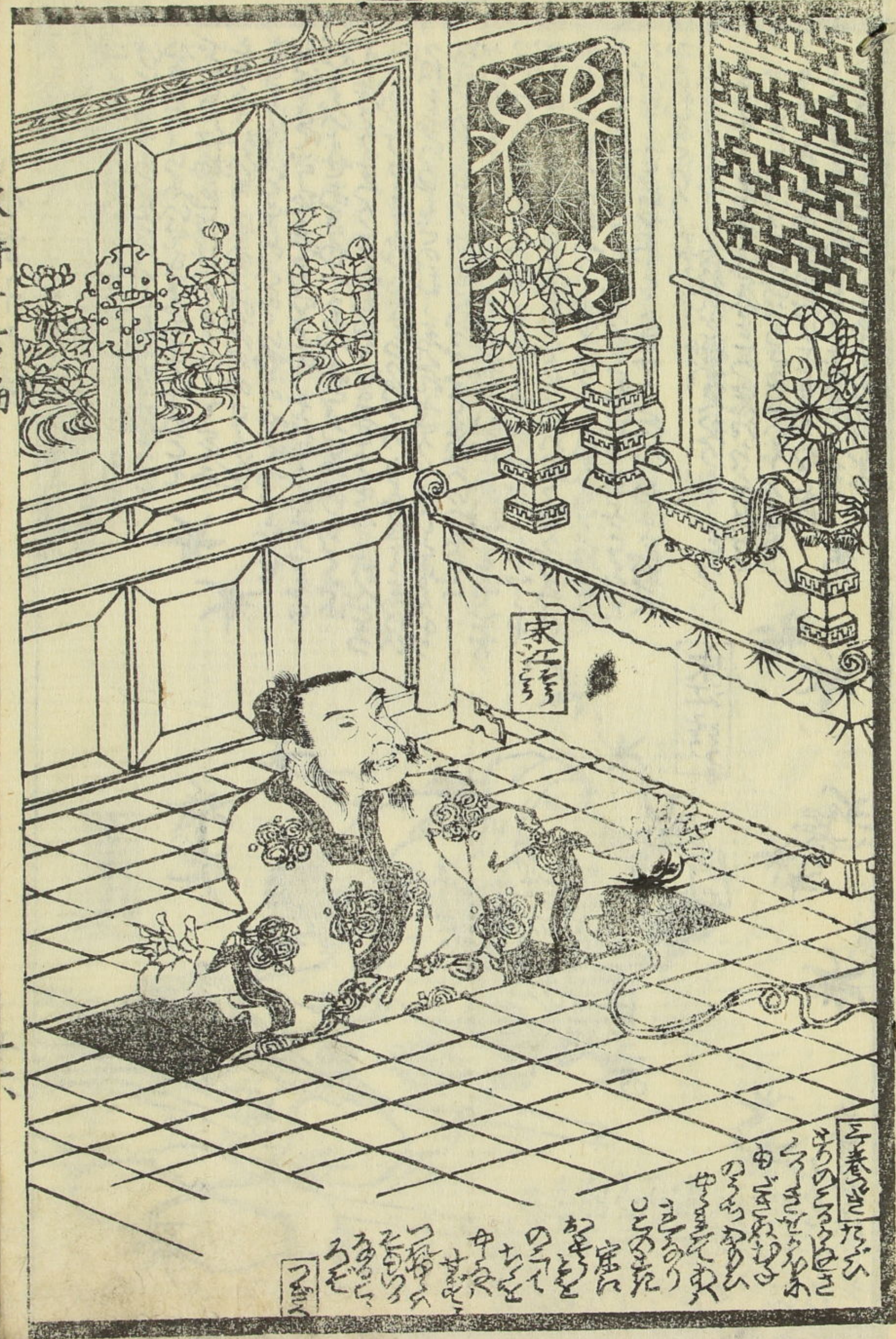
左の山にそと今よりあつてせむふ  
 まさのちかきけの文書は  
 うつておきせうと

本府の文書は  
 織神文書は  
 作者曰織神文書は  
 本府の文書は  
 織神文書は

田横

田横

本府の文書は  
 織神文書は  
 作者曰織神文書は  
 本府の文書は  
 織神文書は



此は朱全豹の  
 居る所なり  
 朱全豹は  
 宋江を  
 殺すに  
 出づる  
 所なり  
 宋江は  
 朱全豹  
 を殺す  
 所なり  
 朱全豹  
 は宋江  
 を殺す  
 所なり  
 宋江は  
 朱全豹  
 を殺す  
 所なり



朱全豹

此は朱全豹の  
 居る所なり  
 朱全豹は  
 宋江を  
 殺すに  
 出づる  
 所なり  
 宋江は  
 朱全豹  
 を殺す  
 所なり  
 朱全豹  
 は宋江  
 を殺す  
 所なり  
 宋江は  
 朱全豹  
 を殺す  
 所なり



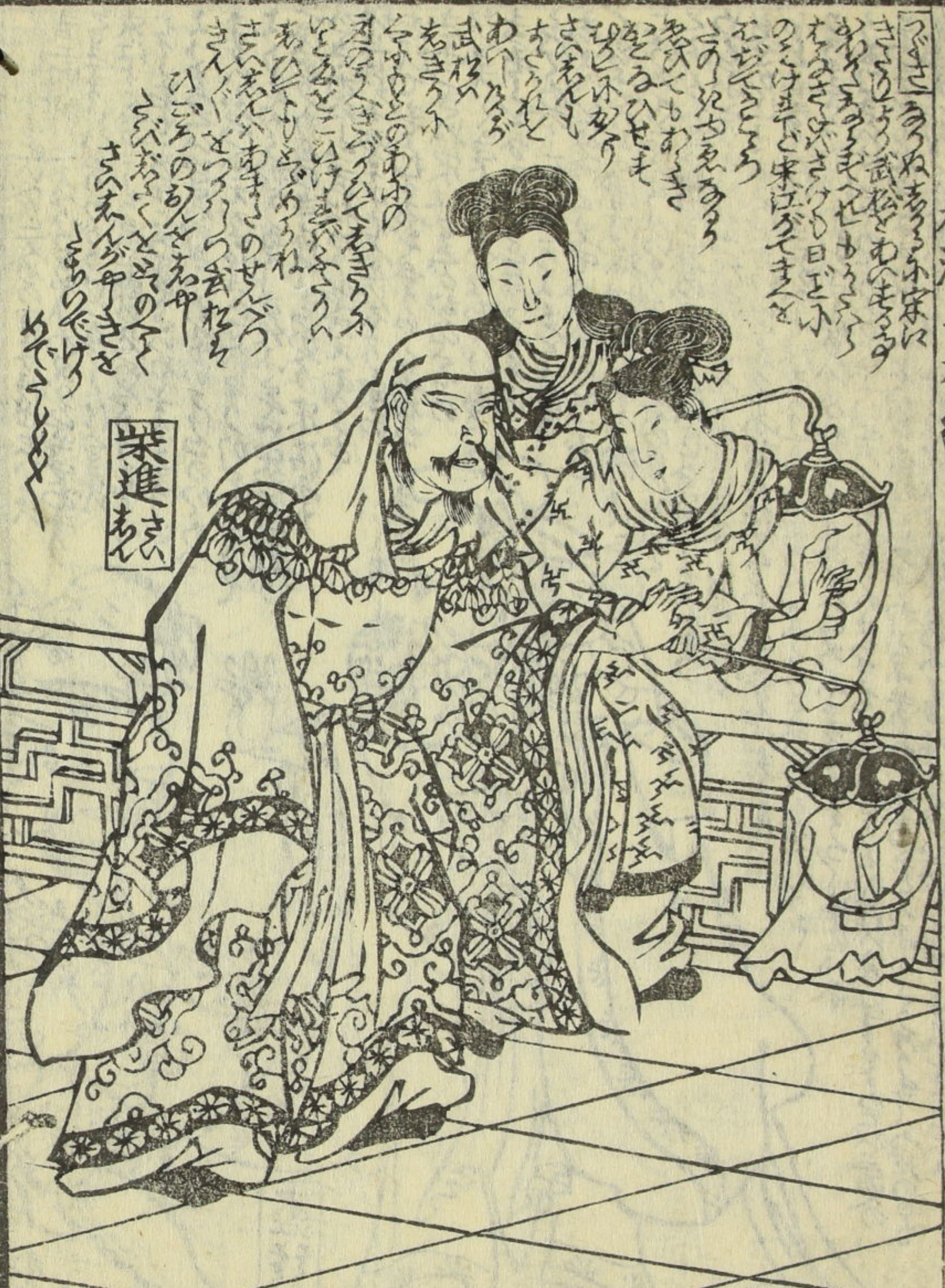






松壽堂藏販略目錄

水滸十六編



國芳仙果譯

時代と書士の  
金銀傳と職業  
世に傳へし世の行の  
人情と事とを  
風俗金魚傳  
曲亭馬琴作  
歌川國直画

魚を考ふ天に通りては魚若小  
志の如くはひはひ果を治  
うらむをの金魚とあるは若く  
編みたるも切は致らぬ如根仕ひ

天保大雜書万人曆

此の書の人間一を生れ集り  
神はありて是を定むる故を介  
男女相性毎相万年曆示りては

三芝居  
役者聲色早合占  
以顔画入國貞画

後者面々の世を治るは  
時代の支り故に入集りては  
多かるとせらるるは世なり

國字水滸傳

仙果作  
國芳画

美艶仙女香  
黒油美玄香  
空急金所之ぬ

地本錦繪問屋  
本  
大黒屋平吉



